

# ① はまなか

# 議会だより

NO 140

令和4年4月15日発行



## 3月定例会

予審	算議	丸山散布と霧高屋上の避難施設整備は	4P~9P
		委員会レポート (総務経済常任委員会 社会文教常任委員会)	10P~11P
一貫	般議	5人の議員が町政を問う	13P~17P
		心是道 (新岡慎之介 さん)	18P

表紙の写真

浜中小学校の卒業式が3月18日に行われ、4人の卒業生が6年間慣れ親しんだ学びやに別れを告げました。浜小で学んだ6年間の思い出と中学校への期待を胸にとっても晴れやかな姿でした。

# 令和3年度実績 ふるさと納税寄付額 7億7千万円 前年度対比 約6千万円の増

令和4年度当初予算 事業別ふるさと納税基金充当額

	寄付者の指定事業内容	金額
1	漁業の振興に関する事業	6772万円
2	農業の振興に関する事業	2877万円
3	その他産業の振興に関する事業	605万円
4	自然環境・景観の保全及び活用に関する事業	3393万円
5	医療及び福祉の充実に関する事業	5936万円
6	教育及び文化スポーツの振興に関する事業	7078万円
7	事業指定のないもの	3420万円

※令和4年4月1日現在のふるさと納税基金残高見込み 4億3954万円

**3月**  
**定例会**  
9日～16日

令和4年第1回定例会が3月9日から、8日間（休会2日含む）の日程で開かれました。町長から町政執行方針、教育長から教育行政執行方針が示され予算審議など活発な議論が展開されました。

今定例会には、令和3年度の補正予算をはじめ令和4年度当初予算および条例改正など24議案が上程され、いずれも原案どおり可決しました。

また、一般質問は5人の議員が登壇しました。

ふるさと納税は、寄付総額から返礼品費や業務支援委託料などの経費を除いた約40%が町の収入となるほか、地場産品の消費拡大や浜中町のPR効果も兼ねています。

上記表のとおり、指定寄付額に比べてさまざまな事業の財源に充当されており貴重な自主財源となっています。

町では、機構改革にあわせ商工観光課の中に「ふるさと納税推進係」を設置し、さらなる納税件数・寄付額の増を図るべく体制を整え取り組みを強化します。

また、ふるさと納税を財源とする新たな事業は、昨年の給食費無償化に続く子育て支援策として、修学旅行に係る経済的負担の軽減を目的に旅行費用の一部を補助する予算を議

決しました。

一人当たりの補助額は、小学生で1万1千円・中学生で3万円・高校生が4万8千円となります。



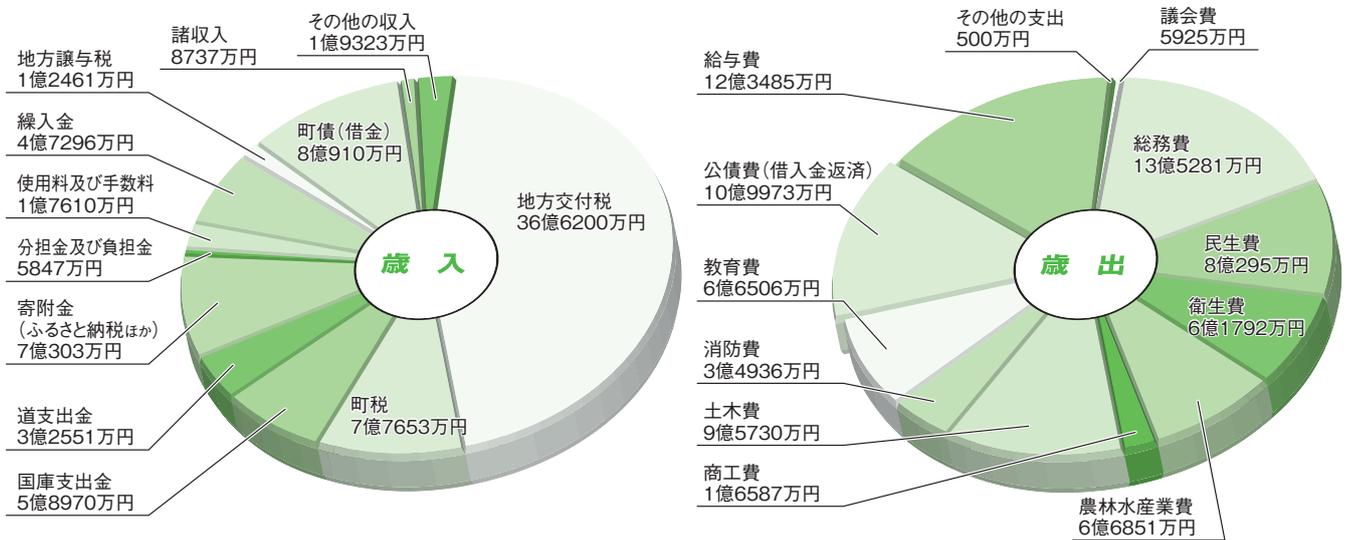
思い出に残る修学旅行（浜中中学校）

# 予算の概要

令和4年度 一般会計予算

## 総額79億7861万円に

### 一般会計予算の内訳



### 各会計の当初予算と前年対比

会計別	歳入歳出予算額		増減率 (%)	一般会計からの 繰出金		
	令和4年度	令和3年度				
一般会計	79億7861万円	76億8118万円	3.9			
特別会計	国民健康保険	12億3766万円	12億4496万円	△ 0.6	4405万円 ←	
	後期高齢者医療	7856万円	7903万円	△ 0.6	2126万円 ←	
	介護保険	4億7698万円	4億6844万円	1.8	7460万円 ←	
	浜中診療所	2億7491万円	2億6764万円	2.7	1億5118万円 ←	
	下水道事業	4億1890万円	4億8181万円	△ 13.1	2億6095万円 ←	
合計	104億6562万円	102億2306万円	2.4	5億5204万円 ←		
企業会計 (企業会計とは、民間企業と同じような経理を行う会計です。)						
	収入	支出	収入	支出	増減率 (%)	一般会計からの 補助金
水道事業	2億796万円	2億796万円	2億1182万円	2億1182万円	△ 1.8	
	5822万円	9773万円	3億2020万円	3億7973万円	△ 74.3	6810万円 ←

※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額3951万円は、過年度分損益勘定留保資金などで補てんする。

# 予算審議から



避難場所に指定される霧高

## 丸山散布と霧高屋上の 避難施設整備は

**問** 実施設計委託料2765万円は、丸山散布避難施設2585万円と霧高屋上

整備180万円であるが整備計画の内容は。

**答** 丸山散布地区の避難対策は、過去4回避難ルートの基本設計を実施するなど時間を要してきた。

令和3年7月に公表された新たな津波浸水想定を基に道や漁協・地域住民代表者との協議の結果、公営住宅裏に基準水位（構築物をせり上がる高さ）を超える避難場所を盛り土により造成する案で実施設計業務を委託する。

霧高校舎は、平成24年の浸水想定では避難施設とすることができなかった。

この度、基準水位をクリアすれば避難場所の指定が可能となるので屋上を活用する計画である。この基準水位は7・4mで3階床の高さが7・9m、屋上が11・5mである。

委託する設計内容は、建物の安全性と3階バルコニーから階段で屋上に上がる改修工事および屋上の転落防止柵設置工事である。

これにより半径500m圏内の新川東と暮帰別東1丁目・西1丁目地区住民492人の徒歩避難が可能と

なる。残る暮帰別地区住民の避難施設として、総合体育館事務室屋上の活用を検討しており、この基準水位は6・5mで屋上の高さは9・3mである。

## 赤潮被害対策は

**問** 産業振興奨励補助の赤潮被害に対する予算の内容は。

**答** 補助の内容は、道の緊急対策事業の対象とならない調査などを支援するため浜中漁協120万円・散布漁協80万円。

また、ウニ種苗生産センター運営費補助として各漁協負担分の10%、浜中漁協178万円・散布漁協102万円を補助。

さらに、共済に加入できない養殖ウニ漁業者に種苗購入費の25%、浜中漁協4人分58万円・散布漁協8人分173万円を補助。

## 可燃ごみ焼却処理の今後は

**問** 可燃ごみ焼却委託料6259万円および根室市じん芥焼却場建設事業負担金461万円の内容は。

**答** 根室市へ委託している可燃ごみ焼却は、2年ごとに単価の見直しをしている。令和4～5年度のトン当たり単価3万5860円は、焼却施設の修繕料が4年度3億9千万円・5年度3億7千万円を要することから前年比1万円程度の増となる。

また、施設の老朽化から令和10年度の供用開始を予定し、共同で「じん芥焼却場建設事業」を実施する。

負担割合は、根室市90% 浜中町10%の予定で、今年度実施する調査・基本計画策定に要する経費の負担金額が461万円である。



建て替え予定の根室市じん芥焼却場

## 景観計画の策定委託は

**問** 景観計画策定委託料410万円の内容と景観条例施行の時期は。

また、町外業者が霧多布市街地に太陽光パネルを設置する計画がある。経済産

業省の許可など正規の手続きを踏んで町に申請されるものと思うが、景観を守る上から町の意向を説明し業者と話し合う考えは。

**答** この委託料は、景観計画を令和4年度より2カ年で策定し、北海道の同意を得て景観行政団体へ移行するための今年度分である。同時に景観条例を制定し、令和6年4月1日の条例施行を目指す。また、太陽光発電事業者

は、周辺住民の同意を得て町へ申請する。書類の不備が無ければ許可せざるを得ないのが現状である。ただ、場所によっては景観的配慮も必要であり、事業者へは、町の意向・考えを説明したい。



守りたい豊かな自然

## 茶内1条通りの整備計画は

**問** 茶内1条通りの設計委託料750万円の内容は。

と思われ、測定機器を設置して調査する。

その結果を基に工事計画を作成する。

**答** この通りは、路面の損傷が激しい。地下水の影響



路面の損傷が激しい1条通り

## 文化センターの改修内容は

**問** 総合文化センターは、築後35年が経過し改修が必要な時期である。実施設計委託料3300万円が計上されたが、予定している主な改修内容は。また、郷土資料室の展示内容および旧茶内第三小学校に保管されている郷土資料の整理が必要では。

電・給排水・空調・暖房・舞台の各設備改修を実施。また、郷土資料は、北海道博物館学芸員からの助言を受けるとともに職員を研

修派遣するなど、郷土資料室のリニューアルと旧茶内第三小学校にある資料の整理を行う予定。

## 医師住宅解体後の計画は

**問** 建物の解体工事1150万円は、霧多布の医師住宅解体に係る予算であるが住宅解体としては高額では。また、解体後の医師住宅整備計画は。

よび建設・維持管理費の抑制が図られる公募型プロポーザル方式での事業を予定している。

※公募型プロポーザル方式とは、自治体が仕様書を作成し事業への参入を公募する。応募する事業者は、仕様書に沿った企画設計書を作り自治体へ提案説明を行い、最も適している事業者と随意契約を結ぶ手法。

**答** 施設の状況は、数年前からの雨漏りや外壁タイルの浮きなど経年劣化による損傷が多数発生している。平成30年に作成した「公共施設長寿命化計画」に沿って大規模改修を行う。屋外では、屋上防水・外壁タイル・窓枠サッシ・排煙設備などを改修。屋内では、エレベーター更新と照明のLED化や受

**答** この物件は、建坪58坪で一般住宅と比べ大きく、車庫など付属建屋を含む解体・廃棄経費の予算である。また、当初は改修を予定していたが詳細査定の結果腐食劣化が進んでおり新築と同程度の費用になることから計画を見直し、解体後の敷地に医師住宅と北大派遣医師の住宅を建設する。なお、建設までの時短お

## 岬キャンプ場周辺施設の修繕内容は



利便性が高まる岬キャンプ場

**問** 修繕料418万円とキャンプ場管理委託料203万円の内容は。

**答** 修繕料は、バンガロー6棟の屋根補修に127万円。霧多布岬展望台屋上フェンスに220万円。アゼチの岬駐車場縁石補修や恋

する灯台看板・ラッコ看板の補修など。

また、キャンプ場の管理は、個人委託からゆうゆ指定管理者に移行する。管理委託料は、前年対比約100万円増となるが、定休日がなくなるなど利用者の利便性が高まる。

## 避難標識と街灯設置の内容は



街灯設置箇所（文化センターからトンネル）

**問** 防災避難施設の誘導標識設置工事385万円と湯沸高台避難道路の街灯設置工事110万円の内容は。

**答** 誘導標識設置工事は10カ所で、

① 指定緊急避難場所の案内標識がない6カ所に看板を設置する。  
② 車避難時のルール化により霧多布岬方面に避難する案内標識を湯沸坂十字路に設置する。

③ 本庁舎に大きく解りやすい避難場所看板を設置する。  
④ 湯沸山へ車で避難してきた場合の渋滞を解消するため、ゆうゆ横の空き地を臨時駐車場に指定する看板を設置する。

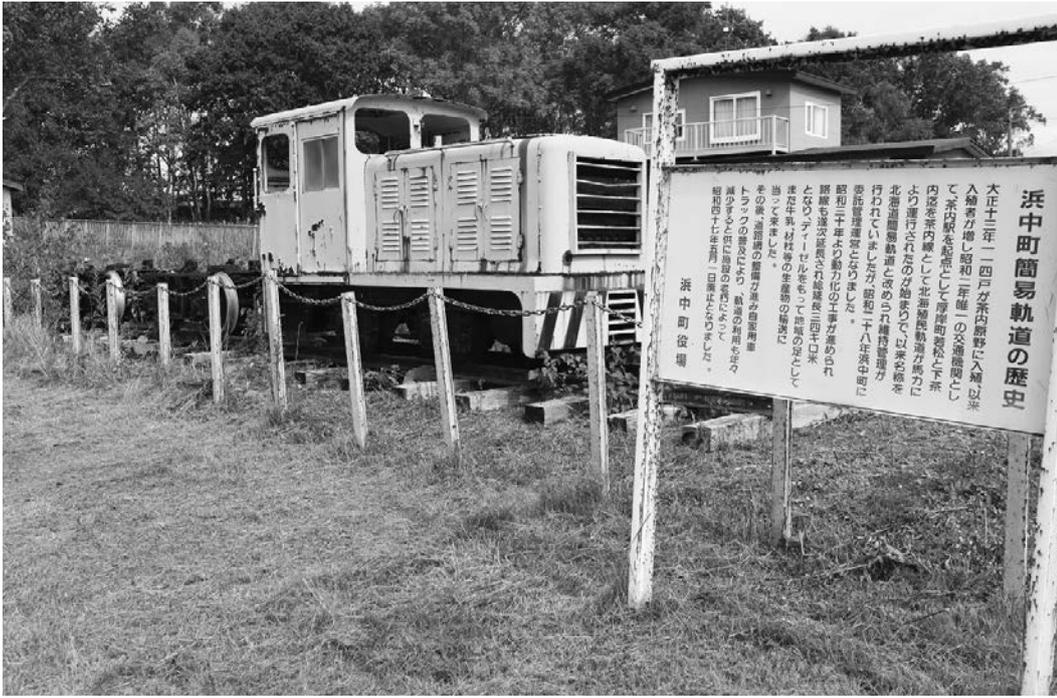
⑤ 霧多布の山岸モーターズさん付近の避難看板を役場庁舎に誘導するものに取り替える。

また、街路灯設置は、水取場方面から新しい避難道路へ徒歩で向かう間に照明が無いため、防犯上と避難時の安全確保を目的に街路灯を3基設置する。

# 文化財補修事業の内容は

**問** 文化財修繕料386万円と移設工事費124万円

**答** およびデータ作成委託料47万円の内容は。



貴重な文化財

**答** 地域から要望書が提出されている二つの文化財保全事業が主である。  
 ①水取場「赤玉の井戸」で地杭の新設と撤去・囲い堀の新設・井戸ポンプの囲い改修・石碑の補修・案内看板の新設などに121万円。  
 ②茶内ふるさと広場に設置している簡易軌道に係るもので、軌道の歴史が平成30年11月に北海道遺産に選定されている。同様の歴史が

ある他町村の取り組みを参考に車両を修繕し、農業者トレーニンングセンターに設置する。板金塗装修理259万円・移設工事124万円・簡易軌道デジタルアーカイブ作成に47万円。将来的には、敷地内にあるログハウスを簡易軌道資料館にする予定。  
 なお、修繕料の残り6万円は、エトピリカデコイの補修費用である。

## ふるさと納税の取り組み強化は

**問** ふるさと納税経費の返礼品で668万円・印刷製本費で531万円・支援業務委託料で254万円が前年に比べ増額となっているが内容は。  
 また、返礼品として観光宿泊メニューを追加する考えは。

付者へお礼として送る卓上カレンダー15万冊を作成する費用。印刷製本費は、納税用パンフレット1万部を作成。委託料は、納税サイトにANA・JAL・三越伊勢丹の3サイトを加え納税窓口を7つに拡充する経費。  
 また、観光宿泊メニューは、提供内容や体制を整えた事業者からの申し出があれば返礼品に追加する。

**答** 返礼品費は、前年度同額で寄付額7億円の30%を見込んでいる。増額は、寄

付者へお礼として送る卓上カレンダー15万冊を作成する費用。印刷製本費は、納税用パンフレット1万部を作成。委託料は、納税サイトにANA・JAL・三越伊勢丹の3サイトを加え納税窓口を7つに拡充する経費。  
 また、観光宿泊メニューは、提供内容や体制を整えた事業者からの申し出があれば返礼品に追加する。

## 校舎補修工事の内容は

**問** 小学校4167万円・中学校4265万円が補修する工事内容は。

**答** 散布小中学校のトイレ改修で、築35年が経過しており経年劣化により浄化槽に亀裂があることから下水道に接続し、同時に便器の洋式化などの更新工事を行う。面積按分で小学校分3484万円・中学校分4265万円である。工事日数は4カ月程度で、大きな音が出る作業は夏休み中に行い、期間中は仮設トイレを設置して対応する。  
 茶内小学校の屋外給油設備は設置から32年が経過している。消防署の査察で、灯油漏れの危険性が高い設備との指摘を受け、地下タンクを撤去しホームタンクを設置する工事で660万円。

散布小中学校のトイレ改修で、築35年が経過しており経年劣化により浄化槽に亀裂があることから下水道に接続し、同時に便器の洋式化などの更新工事を行う。面積按分で小学校分3484万円・中学校分4265万円である。工事日数は4カ月程度で、大きな音が出る作業は夏休み中に行い、期間中は仮設トイレを設置して対応する。  
 茶内小学校の屋外給油設備は設置から32年が経過している。消防署の査察で、灯油漏れの危険性が高い設備との指摘を受け、地下タンクを撤去しホームタンクを設置する工事で660万円。

## 霧多布H団地の改善工事は



改善される霧多布H団地

**問** 霧多布H団地改善工事は、費2億4200万円の内容は。

**答** 平成2年度築のH団地は、コンクリート造り2階建て1棟12戸の3LDKで

ある。改善内容は、屋根の葺き替えと外壁の補修・浴室のユニットバス化・給湯ボイラーの設置・内窓の断熱サッシ化・24時間換気設備の設置で工期は、6月中旬から1月まで。

## 西部道路整備の内容と今後の予定は

**問** 浜中姉別間道路（通称西部道路）整備負担金2700万円の工事内容と完了予定は。また、他路線の計画は。

**答** この路線は、実施設計

を経て今年度は800mを整備する。なお、路盤の痛みが激しく改良工事の完了は令和13年度を予定。  
また、他路線の整備計画は、北海道に14路線の要望を上げ協議を進めている。

## 地域おこし協力隊員の業務内容は

**問** 地域おこし協力隊の増員を求めて来たが、報酬476万円・期末手当83万円は何人分で隊員が担う主な業務内容は。また、車借り上げ料91万円の用途は。

**答** 協力隊員は、複数人での活動が望ましいことから町HPで募集をしていた。新たに1人の応募があり、4年度から2人体制となる。  
現在の隊員は、長引くコ

ロナ禍の活動制限から2年の延長が認められ、引き続き移住定住促進業務を担う。  
新たに赴任する隊員の活動拠点は湿原センターで、浜中町の魅力発信・湿原の保全・自然体験を通じた環境教育・食をテーマにした事業などの活動を担当し、2年目には「北海道アウトドアガイド」の資格取得を目指す自然体験ツアーの企画を担う。  
また、車の借り上げは新隊員の活動に係るもの。

## その他の主な歳出（一般会計）

歳出の内訳	金額
町営バス運行委託料（5路線）	4632万円
社会福祉法人浜中福祉会補助（野いちご）	3147万円
中山間地域等直接支払交付金（2集落）	1億1307万円
除雪車両購入（小型ロータリー除雪車）	4560万円
公営住宅新築工事（茶内団地2階建1棟8戸建設）	2億5000万円

# 委員会レポート

## 総務経済 常任委員会

### 3つの所管事務調査を実施

財政状況の見通し、津波浸水想定、ウニ種苗生産センターの調査を実施し、3月定例会で報告。

#### ○財政状況の見通しについて

##### ◆調査の概要

防災機能を備えた役場本庁舎の新築を始め、子育て支援として茶内保育所の新築など大型事業が実施され、多額の起債（借金）を発行している。本町の財政の現状と将来見通しについて調査した。

##### ◆調査意見

令和3年度以降の地方債元利償還額は、11～13億円台の償還と見込まれているが、今後の大型事業の展開によっては、財政の弾力性が無くなる心配がある。

健全な財政を維持していくためには、町総合計画の実施計画で示されている事業の厳選を行うとともに町民の命を守るため、地震・

津波災害に対処できる財源確保に留意すべきである。

#### ○道が策定する津波浸水想定について

##### ◆調査の概要

国が公表した「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル」を基本として道は、令和3年7月に北海道太平洋沿岸の津波浸水想定を公表した。これにより、今後の避難計画の見直し、避難対策の検討が可能となり、本町が取り組む防災施策について調査した。

##### ◆調査意見

北海道の沖合「千島海溝」では、過去に350年前後の間隔で巨大地震津波が発生し前回からすでに400年程度経過していることから、次の巨大地震が切迫し

ている可能性が高いといわれている。

今回の道の津波浸水想定に基づき、町はハザードマップの見直し、避難困難地域の避難対策の検討、国・道に対する技術的・財政的支援の要請など積極的に進めていくことが必要である。

また、防災意識の高揚を図るため、津波シミュレーションCGの作成も必要と思われる。

#### ○浜中町ウニ種苗生産センターの現況及び運営状況について

##### ◆調査の概要

種苗生産センター建設の概要と種苗生産の過程を聴取し、ウニ漁業の生産安定と本町における栽培・養殖漁業のさらなる可能性を探るため浜中町ウニ種苗生産センターの現況及び運営状況について調査した。

##### ◆調査意見

「浜中町ウニ種苗生産センター」の完成により毎年300万粒の稚ウニが安定

供給され浜中産純度100%の稚ウニが出荷される。これによりウニ着業者おおよび加工事業者、更にはウニ関連従業員の安定的雇用などにつながり本町の経済活性化に結び付くものと考えられる。

また、視察時に説明された種苗生産センター長は、豊かな知識と熱意・実地経験を積まれた実績により300万粒もの稚ウニを育てられていることに敬意を表すると共に職員の人材確保の重要性を改めて感じた。



ウニ種苗生産センター

## 学校教育環境のあり方の 検討を始める時期と考える

学校教育環境改善の可能性の一つとして小中一貫教育に着目し、白糠町・斜里町を視察した。

### 社会文教 常任委員会

#### ○学校教育環境のあり方について

#### ◆調査の概要

霧多布中学校校舎の老朽化を見据え、今後の学校教育

育環境のあり方について、当委員会でも一定の結論を見出すべく多方面から調査検討することとしている。

まずは、今後の児童・生徒数の推移（各学校ごと・10年間）とこれまで行われてきた学校統廃合の検証を行った。当町の学校教育環境改善の可能性の一つとして小中一貫教育に着目し、先進自治体の白糠町・斜里町の行政視察を行った。

#### ○白糠町

白糠町では、町内すべての小中学校で小中一貫教育を実施している。小中一貫教育は、教師の指導力向上が子どもの成長につながるとの信念のもと情熱のある教師を育成し、地域全体で子どもの成長を支え、この取り組みを後押しする教育委員会が一体となって、小中一貫教育のさらなる充実を図っている。3つの異なったスタイルでそれぞれ小中一貫教育行っていることも特筆すべき点である。

#### ○斜里町

斜里町では、小中併置校であった小・中学校を義務教育学校へ移行し成果を上げていく。目指すべき子供像を共有し、9年先のゴールに向けて1年生から指導する。前期課程より教科担任制を導入するなどし、全国学力・学習状況調査では、開校から数値が伸長し、全国平均正答率を10ポイントも上回っている。これは、教職員が前期・後期課程の所属にこだわらずに、全職員が一体となってより効果的な教科経営を目指して校内研修に取り組んできた成果である。

#### ◆調査意見

小中連携の強化を図り目指す子ども像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成することで系統的な教育が実践できる「小中一貫教育」を導入する自治体が増えており、さらに一歩進めた「義務教育学校」を設置する地域もある。令和3年度における全道の状況は、

小中一貫教育の導入が22市町村で92校、義務教育学校の設置が13市町村で14校となっている。

文教委常任委員会として一定の結論を見出すまで、さまざまな視点から継続調査する。

今回視察した2つの町では、9年間を通したカリキュラムによる学習面での成果はもとより、人としての成長にも大きく寄与しているとのことであった。浜中町においても、児童生徒数の推計や施設の老朽化などを見据え、未来を担う子供たちの「学校教育環境のあり方」をどの様に描くのか保護者や地域住民の意見も聞きながら積極的な検討を始める時期と考える。今後は、執行機関とも課題を共有し議論を重ねるなど、社会



白糠町立庶路学園（義務教育学校）

## その他の予算関連審議(抽出)

- \* ゆつゆキャッシュレス化の内容は
- \* 結婚新生活支援事業補助の実績は
- \* 固定資産評価支援システム導入の経緯と内容は
- \* 移住・定住支援事業補助の内容は
- \* 茶内支所エアコン設置の内容は
- \* 福祉職修学資金貸付金の周知方法は
- \* 遺族会補助の今後は
- \* 合併浄化槽設置事業補助の実績は
- \* 地域再エネ導入目標策定委託料の内容は
- \* 資源物リサイクル活動奨励交付金変更の内容は
- \* ヒグマ捕獲器購入の内容は
- \* 森林環境譲与税基金の今後は
- \* 樋管フラップゲート化の見直しは
- \* 着ぐるみ制作委託料の内容は
- \* 防災行政無線改修工事の内容は
- \* 新川右岸導流堤の改修工事は
- \* パークゴルフ場券売機購入の内容は

## 固定資産評価審査委員の選任に同意

松村嗣弥氏は、令和4年4月4日付で任期満了となることから、引き続き適任と認め、選任に同意しました。



松村 嗣弥氏 (霧多布)

## 決議(可決)

### ◆ロシアによるウクライナ侵攻に対する決議

本年2月24日、ロシアはウクライナへ軍事侵攻を行い、さらに核兵器使用について言及し、国際社会を挑発している。

このことは、国際社会ひいては我が国の平和と秩序、安全を脅かし、明らかに国連憲章に違反する行為であり、被爆国である日本国民として、また、ロシアと国境を接する北海道民としても断じて容認できない。

当議会は、ロシア軍による攻撃やウクライナの主権侵害に抗議するとともに、世界の恒久平和の実現に向け、ロシア軍を即時に完全かつ無条件で撤退させるよう、国際法に基づく誠意を持った対応を強く求める。

また、政府においては、邦人の確実な安全確保及び事態の解決に向けて万全を尽くしていただきたい。

(賛成8 反対3)

## 選挙管理委員及び補充員を選任

令和4年3月6日に任期満了となる選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙を行い全会一致で左記のとおり選任した。

### 選挙管理委員

田中 政明氏 (霧多布)  
梅原 昌美氏 (熊牛)

澤辺 広二氏 (霧多布)  
山口 寿宏氏 (茶内)

### 補充員

小松 昭彦氏 (霧多布)  
大竹 栄子氏 (浜中)

南 あゆみ氏 (暮帰別)  
村元 了正氏 (霧多布)

## 条例の改正を議決

### □浜中町介護保険条例等の一部改正

介護保険料、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料について、現行、第6期までとなっている納期を第9期までに改正し、納付者の各期の負担を軽減する。

## 第1回臨時会 (1月28日開催)

一般会計補正予算で住民税非課税世帯等臨時給付金7210万円と赤潮被害調査活動支援として両漁協に対する補助金200万円を追加した。

議会議務局長に  
東海林 圭太氏が就任  
いたしました。

(4月1日付)

# 一般質問

川村 義春 議員



## 津波避難困難地域の 避難施設の整備は

問

## 避難タワー建設は 特措法の改正で可能

答

**川村** 津波避難困難地域住民の避難対策は、新しい津波浸水想定が公表されたので、避難タワー建設などの検討を進めると答えていたがその後の検討内容は、**町長** 津波避難困難地域の対策検討会に専門家の参加を得て2回開催。その内容は、避難施設建設の候補地選定で、新川西、仲の浜、琵琶瀬親睦地区は、半径5

**川村** 千島海溝沿いの巨大地震対策の特別措置法の改正が国会で成立する見通しである。これが決まれば町は国の同意を得て、津波避難緊急事業実施計画

00m圏内を避難地域として、候補地を絞り3カ所。津波浸水想定における基準水位をクリアする建物がない候補地に新規の避難施設を建設。施設の構造は、鉄骨造りと鉄筋コンクリート造りの2方式があり、避難場所の高さは、基準水位が、7～8m程度であることから9m以上は必要。その上部の屋上部分に避難スペースを確保。収容人数は、対象区域の人口を考慮し、1施設当たり100～150人と考えている。



高知県黒潮町の津波避難タワー

を作成し、5カ年計画で事業実施は可能と答えていたが、緊急事業実施計画の作成と財源対策は。**町長** 緊急事業計画を4年度中にまとめ、地域との協議、議会にも諮り、国や道の支援を受け、事業実施したい。財源対策は、現行法の2分の1から3分の2に国の負担率が引き上げられるが、3分の1は地元負担となる。町財政も厳しいので有利な起債の活用など関

係する市町村と連携し、強力に国・道に陳情や要請行動を行いたい。

**問** 防災意識を高める津波CGの作成は

**答** 疑似体験できる映像を早期発注し活用したい

**川村** CG(コンピュータ・グラフィック)による動画作成は。

**町長** 津波の脅威、早期避難の大切さの啓蒙に効果がある。津波の映像とCGを重ね合わせるだけでなく、津波の襲来を臨場感ある疑似体験する映像を作成したい。

**問** ふるさと納税寄付額の増高対策は

**答** 納税サイトなどの拡充で寄付者の増大を

**川村** 増えない原因がどこにあるかを探り、対策を講ずる必要があると思うが。

**町長** 納税サイトの拡充と新たにふるさと納税推進係を商工観光課に置くことで、町内事業者との連携や特産品の開発などを進めることで寄付者の増大を見込む。

# 一般質問

田甫 哲朗 議員



問

エゾシカ生息数の  
適正管理対策は

答

有害駆除に加え  
ワナ捕獲を強化



有効な囲いワナ

**田甫** エゾシカによる農林業での被害や海産干場への侵入さらには交通事故が増えている。生息数の適正管理状況は。

**町長** 道の5カ年計画に基づき、猟友会の協力による有害駆除を中心に一般狩猟やワナ捕獲を合わせた年間の目標駆除数3千頭をほぼ達成しているが、シカの繁殖スピードに追い付いてい

ないと思われる。

**田甫** 道は、生息数をピーク時（東部地区39万頭）の50％程度にするとして「第6期エゾシカ管理計画」を作成するが内容は。

**町長** 成案は3月末頃に公表される予定である。素案では、計画期間は前期と同じ5カ年であるが、これまで振興局単位で定めていた捕獲推進プランを市町村が定める捕獲プラン目

標数に改め、鳥獣被害防止計画との整合性を図るなど実効性のある内容となっている。

**田甫** 年間の捕獲頭数を増やすことになるが、有害駆除委託料の9割が町の一般財源であり、地元猟友会の会員数も限られている。銃による狩猟だけでは限界があることから、囲いワナなどによる捕獲を強化すべきでは。

**町長** 町では、狩猟免許取得を目指す人に36万円を補助し、会員数や平均年齢の改善を図っている。財源的な課題もあるが、シカの学習能力から発砲禁止区域内での生息数が増えている。

狩猟による有害駆除頭数2500頭程度を維持し、囲いワナは1基300〜400万円と高額な経費を要するので、霧多布湿原周辺での捕獲事業を道へ要望している。

また、道は今年度新たに国有林・道有林での箱ワナ・くくりワナによる捕獲事業を強化する計画で1億800万円を予算化した。ワナ猟は、道が北海道認定鳥獣捕獲事業者へ委託をして実施するもので、管内3人の有資格者の内1人が浜中町在住者であり、町内での事業実施を積極的に働きかけていく。

**田甫** 養鹿事業を営む民間企業との連携は。

**町長** 事業補助などではないが、囲いワナ設置場所の選定や申請手続きでの支援など連携を図って行く。

# 一般質問

秋森 新二 議員



問

## 丸山散布避難道路の進捗状況は

答

## 盛り土による高台造成が有力

**秋森** 令和2年4月、国は千島海溝沿いを震源とするマグニチュード9・3の地震により、最大津波高は火散布で17・4mと公表した。丸山散布避難道路整備計画は、平成23年4月に避難道路の整備を町に陳情してスタートしたが、計画変更が幾度もなされてきた。変更に至る経緯と新たなルート概要、完成時期な

ど今後のスケジュールは。また、事業費抑制の手段として、漁港の浚渫により発生した砂を盛り土と混ぜ合わせて活用する考えは。

**町長** 丸山散布の避難道路整備は、北海道など関係機関と協議を重ねてきたが、保安林解除や多額な事業費、盛土工法の安全性への不安など整備に関する課題が多く、幾度も変更を余儀なくされた。

これらの課題を解決する方法として、3つのルート案を作成して令和3年度基本設計を行った結果、丸山散布公営住宅裏に盛り土による海拔7mの高台を造成し、避難場所とする案が有力となっている。

今後のスケジュールは、令和4年度に実施設計、令和5年度工事着手の予定である。

また、浚渫により発生した砂の活用は土質調査の結果で判断したい。

**問** 津波防災マップの見直しは

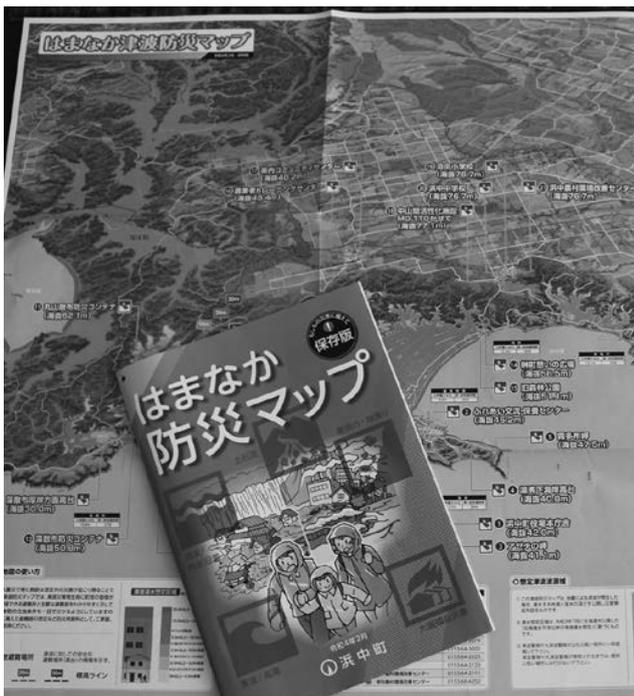
**答** 3月中に各戸配布

**秋森** 中央防災会議が発表した千島海溝沿いでマグニチュード9級の巨大地震が発生した場合の被害想定によると、死者10万人、津波を逃れたとしても屋外で長時間寒冷環境にさらされることによる低体温症の要対処者が2万2千人、地震による家屋全壊が1600棟と報告されている。しかし、避難所への2次

避難路の整備や防寒備品の確保など、事前防災の徹底により犠牲者の数や被害を大幅に減らせるとも明記されている。

平成24年に作成された「はまなか津波防災マップ」も見直しの時期にあると思われるが、今後のスケジュールは。

**町長** 令和3年7月に津波浸水想定が見直されたことから、土砂災害マップを加え改正を行い、町内全世帯に配布する。



新しい津波防災マップ

# 一般質問

小松 克也 議員



**小松** 隣接する土地でのソーラーパネル設置にあたり同意書に捺印を求められる事例があった。このような例は他にもあるのか。

また、脱炭素社会に向け再エネ導入に伴うトラブルが増えると思われるが、条例改正など今後の対策は。

**町長** 浜中町再生可能エネルギー発電施設の設置に関する条例では「事業者は責任をもって周辺関係者の同

**問** ソーラーパネル設置の同意書に住民の捺印は

**答** 同意書の提出は義務付けていない

意が得られるよう事業計画を説明し、その結果を町長に報告すること」を義務付けているが、同意書の提出は求めている。

ただ、事業者が後々のトラブル防止のために、署名や同意を求める事例はあると思われる。

本条例の主旨は、事業の実施にあたって周辺関係者の意見を聴いてから計画すること、トラブルを未然に防止することである。

また、脱炭素社会の形成には、再エネの活用が必要不可欠であるが一定のルールも必要である。現在、地域再エネ導入計画や景観計画の策定に取り組んでいる。

**問** 避難場所の案内を防災無線で

**答** 状況に応じて適時適確に

**小松** 今年1月のトンガ沖海底火山噴火による津波警報の際に、避難場所の案内が役場庁舎のみであり戸惑いを感じた人もいた。

今後、地域ごとの避難場所案内を防災無線で周知す

べきでは。

**町長** トンガ沖津波でのアラートは、警報ではなく注意報であり、自主避難者の対応として町内5カ所の避難施設を開設した。朝になり避難者もいないことから役場庁舎のみとして防災無線で情報を流した。

また、発生直後の防災無線放送は、気象庁発表のJアラートおよび町長の発表発令事項のみとなっている。警報・注意報が長時間になる場合は、避難所情報を無線放送するなど今後も状況に応じて適時適確に対応していく。

**問** バスの回数券を文化センターで

**答** 新年度から対応したい

**小松** 本庁舎が高台移転し高齢者が徒歩で行けなくなった。バスの回数券授受を総合文化センターで業務代行できないか。

**町長** 金銭授受が伴わず専門知識を必要としない業務代行は可能であると考え、バス券の授受は、担当課と協議して新年度から対



バス回数券を受けとれる文化センター

応していきたい。



# 一般質問

渡部 貴士 議員

問

## 庁舎内のデジタル化に向けて

答

## 検討しながら進めていきたい

**渡部** 町長は令和4年度町政執行方針において、脱炭素社会の実現やDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進を地方創生のために取り組むべき課題としてあげている。ウィズコロナの新しい日常生活を迎えた今、ペーパーレス化やキャッシュレスなど住民サービスの向上と行政運営の効率化を図る必要がある。デジタル化に

向けての今後の取り組みとデジタル化を得意分野とする職員や若い職員からの意見を汲み上げる体制や機会などはあるか。

**町長** 行政システムの開発運用管理などは、北海道自治体情報システム協議会と情報共有し、社会情勢を見据えながら対応したいと考えている。

得意とする職員からデジタル化に関しての提案やアイデアなどは、担当課で協議の場を設けられる体制にしたい。

ふるさと納税の目標額は

**答** 目標額は設けず新体制で対応

**渡部** 鶴居村が当町の構想と同じような業務形態で「むらづくり会社」設立に向けて方針を固めたと新聞報道され、持続可能で活気ある「むらづくり」を目指し、ふるさと納税事業の強化や地域おこし協力隊の増員などを掲げている。

当町のふるさと納税寄付額は前年度微増で、その内訳の7割がハーゲンダッツ

に偏っている。寄付額は財源に充当できるので、目標を設定して積極的に取り組む考えは。

人材不足を補うために「地域おこし協力隊」の募集要項を調整することや募集人員を産業団体などに打診する考えは。

**町長** ふる

さと納税の目標額は設定をしていないが返礼品目と寄付額は増え続けている。

機構改革で専門部署を設け、観光業分野の返礼品を加えながら取り組んでいきたい。

地域おこし協力隊は現隊員の契約期間延長



自治体DX推進計画から読み解く行政のデジタル化

となり、新たに1名を霧多布湿原センターで採用することになった。人材不足を補う概念ではなく、目的がなければ採用できないので理解を。

# 心是道

霧多布高等学校  
令和3年度卒業

## 新岡慎之介



私は三年間、北海道霧多布高等学校の生徒として多くのことを学びました。そのなかでも、印象に残っているものは二つあります。

一つ目は、浜中学です。一年次では、浜中漁業協同組合青年部の方々の出前授業や浜中町役場茶内支所農林課の方の農業についての講話など産業について学びました。さらに、浜中町の特産物を使ったピザ作りや浜中十景を巡るなど、自分たちの五感で浜中町の素晴

らしさを実感しました。二年次では、浜中町について発信する力をつけるためブレゼンテーションスキルについて学びました。そのなかで、相手に伝えるための技術を学びました。三年次では、三年間の集大成として、浜中学報告会に向けてグループに分かれて活動しました。それぞれのグループの視点から浜中町の課題を発見し、それを解決する方法などを考え、報告させていただきました。私は観光班として「浜中町にルパンホテルを建てる」という提案をさせていただきました。とても大胆な提案でしたが、グループのメンバーと協力し、より具体的に魅力的な提案をすることができたと感じています。

二つ目はチャレンジグルメコンテストです。私たちは霧高フードビジネスというチームで、「きりたっぷりん」を開発しました。そして、商品企画賞を受賞することができ、実際に北海

道各地のコープさっぽろで販売されることになりました。その結果、多くの方に浜中町の特産品の素晴らしさを伝えることができたと思います。今回のコンテストを通して、浜中町でしか作れない商品を作ることの楽しさと難しさを同時に学ぶことができました。

最後に私たちに多くの学びの場を用意していただいた地域の皆様、教職員の皆様に深く感謝申し上げます。ともに、成長を続ける後輩たちに対して、ご支援とご協力していただけることを心より願っています。

- 揮毫 書道部2年A組 梅津 あいさん
- 読み方 しんげどう
- 意味 普段の心を守る ことが大切である。



## 町のトピックス

即、完売！「きりたっぷりん」

2月23日撮影

霧多布高校生が開発したヒット商品「きりたっぷりん」コープはまなかで限定販売するも、たちまち売り切れに。



この欄に掲載するまちの季節の写真をお寄せください。次の発行は令和4年7月15日です。

ご応募はこちらへ 浜中町議会事務局  
E-mail: gikai@town.hamanaoka.jp TEL: 62-2265

町のトピックス (話題) を  
募集します!

〒088-1592  
北海道厚岸郡浜中町湯沸445番地  
0153-62-2265

発行 北海道浜中町議会  
編集 議会広報聴常任委員会

この議会だよりは、再生紙を使っています